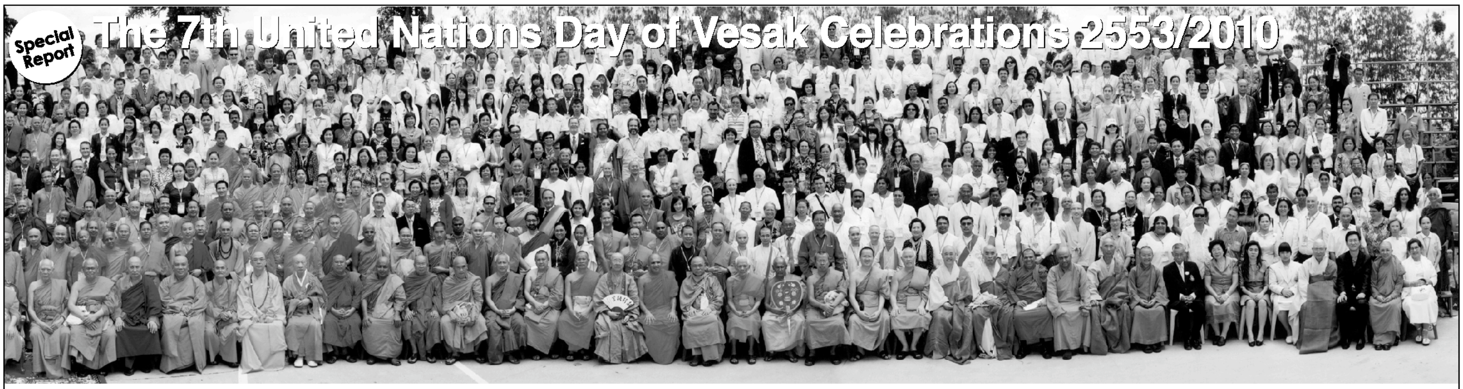
Special Report

The 7th United Nations Day of Vesak Celebrations 2553/2010



SPEECH スピーチ

基調講演 地球の回復 －仏教徒の展望－

「私たち、世界の仏教徒は、他のどの宗教の信者よりも、今この時この惑星にある生命の存続に対して大きな責任を持っている、と思います」

A.T.アリヤラトネ博士
●サルボダヤ・シュラマダーナ運動創始者、会長

今日、私たちの世界は数知れぬ地球規模の問題に直面しています。これらの問題の原因は何かと探っていくと、すべて人間の誤った行いにたどり着きます。

私たち、世界の仏教徒は、他のどの宗教の信者よりも、今この時この惑星にある生命の存続に対して大きな責任を持っていると思います。仏陀は私たちは、誰であってもどんなものであっても権威として受け入れないように、と教えておられます。まず、様々な問いかけによって私たち自身の心の働きを調べ、その後で、私たちのこの世界で適切な行動を行なって問題を解決する、ということが仏教の基本的な実践です。どのようなことであれ、それを受け入れるか、それとも、それを拒絶するのかを最終的に決める権威を持っているのは私たち自身です。それゆえ、私たち、人間は、まず最初に、世界の何がうまくいっていないのかを自分で見つけ出さねばなりません。そしてその後で、私たちは、外部の権威に介入を懇願することなく、私たち自身が実行することができる改善策を探さなければなりません。

世界危機に対する佛教徒の智慧 —特に環境について—

「佛陀の説かれた『足ることを知る』この御言葉を各人が自知体得することです」

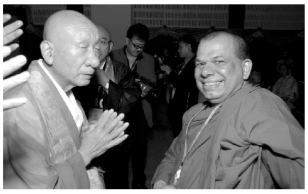
則竹秀南
●妙心寺 霊雲院老師

危機に立つ環境問題を解決するために、私達仏教徒は如何にあるべきか。現代人が持つ価値観をそのまま法律で規制しても一時的なもので効果は薄く、根本的に価値観を変える可きであります。それには、佛の智慧による佛の教の実行です。

佛陀の説かれた「足ることを知る」この御言葉を各人が自知体得することです。

幸せとは無限に拡大する欲望を満たすことではありません。一人一人が欲望に執着する愚かさに気付くことです。もっと欲しい、もっと欲しいと常に求めてやまない心の愚かさに目覚める重要さに早く気付くことです。

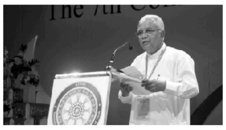
身近な簡単な行いを日々心して行動することにより、環境は保存され、人間は心豊かになり、世界は自ら平和となり、佛の世界が現出します。



アユタヤ大ホールにて(左)則竹秀南老師と(右)ダンマラターナ博士

第七回国連ウェーサク祝賀式典のロゴ

マハチュラ大学アユタヤ校の大ホール風景



23日アユタヤマハチュラ大ホール、式典の基調演説。サルボダヤ・シュラマダーナ運動—創始者のA. T. アリヤラトネ博士

歓迎のスピーチ

「諸問題を解決できるのは仏の智恵と慈悲をもって取り組み、永続的な活動として取り組むことだと思っております」

浅川重美
●ITRI日本センター会長

仏陀は人間が生きてゆくための最も根源的なテーマ追求しました。そのテーマに対する答えを今国連やユネスコなどの専門機関が世界を救うためにあらためて必要としています。それ以外に答えが見つかりません。環境、貧困、紛争解決など多くの問題が私たちの目の前に大きな壁となって立ちはだかっています。問題解決の為の国際会議も時には国益の争いの場に変化したりすることもあり、大きな成果となりません。

このような諸問題を解決できるのは仏の智恵と慈悲をもって取り組み、永続的な活動として取り組むことだと思っております。

私どもは、各種国連の活動、仏教の活動、青少年の活動等を通して、また、同じ志を持つ様々な団体・機関の皆様と共に有機的かつダイナミックに世界における対話を推進し、平和な社会の実現を目指しております。ここに御来席の皆様も同じような志をお持ちのことと存じます。是非ご一緒に同じ目標に向かって進んで参りましょう。

25日国連でのスピーチ、ITRI浅川重美会長

The 7th Conference of
The United Nations Day of Vesak
23-25 May 2010

25日国連会議場にて読経、左から服部光龍氏、可児光永氏、秦順照氏、玉川覚祥氏、軟南覚範氏、則竹秀南氏、斉藤円眞氏、水谷永寛氏、岡島南圭氏

プラ・ダマコサジャン博士からのタイ国内情勢に関する緊急メッセージ

「タイ王国に平和が戻り、国が正常に戻った様を目にすることを切望している」

プラ・ダマコサジャン
●国連ウェーサクの日 国際評議会・会長

いくつもの国々で政府がタイ国への渡航に対して出している警告によって、また、皆様が海外においてご自身で集められた情報によって、皆様の不安が強まっていることを私達は十分理解しています。

私達国連ウェーサクの日の執行メンバーは、すでにタイに到着し2010年／2553年国連ウェーサクの日祝賀式典の会場だけではなく会場への経路も視察いたしましたが、危険地帯、すなわち、ラチャプラソンとラーマ4世通り一帯の状況は今は沈静化しており平穏である、という最新情報を皆様にお届けしたいと思います。デモ参加者はいなくなっています。バンコクの他の地域では、普段通りの生活がずっと続いております。

海外の様々な国の多くの参加者の皆様から、状況に関するお問い合わせをいただきました。5月19日のショッキングな事件にもかかわらず、日本からの600名の参加者を含めおよそ1600名の方が海外から参加されると予想しております。この方々のほとんどが私達に連絡を下さいました。そして、幸いにも、参加を再確認して下さいました。

神聖なウェーサクのために皆様がタイ国に来られることは、今ではタイ王国に平和が戻り国が正常に戻った様を目にすることを切望している、そして国民の和解によって政治的問題を解決することを切望している紛争の当事者双方にとって本当にありがたい恩恵となることでしょう。

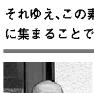
メッセージ MESSAGE

「瞑想、愛情深い親切心、慈悲心、忍耐、そして、非暴力を実践することによって、まず、個々人から始まります」

テップ・ヴォン
●カンボジア仏教サンガ代表、マハーニカイ派官長の大僧正

仏陀の教えは偉大であり、平和と調和をもたらすものでありますが、私達がその教えを実践しなければ、何の利益も私達にもたらしてくれません。それゆえ、この素晴らしい催しを祝うためにここに集まることで、私達は、仏陀の教えをより良く理解し、世界の平和と調和と繁栄のためにもっと根気強く活動するための励みを得られるように、私達の持つ知識と経験を話し合いお互いに分かち合う機会を持つのです。

「この集まりは、私達がもっと平和で持続可能で公平な世界社会を育もうとする際に、世界を導く手助けとなるでしょう」



ボウ・クライ
●カンボジア仏教サンガ大僧正

私は、仏教の様々な宗派を集め、世界中から代表者を呼んだ皆様の努力に拍手を送ります。この集まりにより、仏教の価値観と信条が社会からこれまで以上に深く理解されることでしょう。また、この集まりは、私達がもっと平和で持続可能で公平な世界社会を育もうとする際に、世界を導く手助けとなるでしょう。

タイ国：タイの仏教徒、ウェーサクを祝い、政治危機・社会危機への解決策を探す

深刻な社会と政治の危機に苦しむ「国の早急の回復を祈るために」、読経と瞑想を行なう必要がある

タイ国は、死と破壊を撒き散らした数週間にわたる緊張と暴力に今だに揺れ動いている。日本との共同で主催される2010年の会議のテーマは、世界経済における仏教徒の「展望」に焦点を置いている。国の平和を願って、祈りと瞑想が捧げられ、また、ろうそくを掲げての行進が行われる。

ウェーサクの日祝賀式典の第7回会議は、日本がタイ国との共同主催者となっている。"祝賀式典は5月23日から25日まで開催されるが、その中心テーマは「地球の回復：仏教徒の展望」で、経済に焦点が置かれている。"タイ最高サンガ評議会のソムデト・プラ・ブッタチャーン議長が、世界中から集まった400名の仏教の長老達と80以上の国を代表する1300人の仏教指導者達と共に出席した会議の開会式には、ワチラロンコン皇太子と妻のスイラサミ妃が臨席された。

発信元：アジアニュース（2010年5月25日火曜日）

「『地球の回復』という今年の会議のテーマは、仏教がどれほど今日にとって適切なものであるかを示しています」

ケヴィン・ラッド
●オーストラリア首相

私は、オーストラリアに人々が、世界中から集まった同胞と共にバンコクで国連ウェーサクの日を祝う機会を持つことを喜んでおります。

「地球の回復」という今年の会議のテーマは、仏教がどれほど今日にとって適切なものであるかを示しています。私達が経済的争いから抜け出ようとする時、仏教の中心的教義である協力、勤勉、そして、思いやりという価値観は、これまで以上に平和で公平な世界を建設しようとしている私達に多くのことを教えてくれます。

「この地の仏教徒は力強く才能に溢れる社会を形成しております」

シェイク・ハシナ
●バングラデシュ人民共和国政府、総理大臣

バングラデシュは、様々な社会が調和を持って共存している国であり、どの社会もそれぞれの宗教を非常に平和に遵守しています。バングラデシュはまた、仏教文化の大きな遺産を持っており、この地の仏教徒は力強く才能に溢れる社会を形成しております。

私は、この会議が世界平和の確立に向かう新たな道の先導役となることを願っております。

国連ウェーサクの日式典が素晴らしい成功を収めますよう心よりお祈り致します。

バングラデシュが永遠にありますように

「この会議が今回も成功を収め、将来はさらに発展していくことを希望しております」

松本廣
●インナートリップ霊友会インターナショナル代表

この会議は、上座部仏教、大乗仏教、密教などの世界中の仏教徒がいっしょに集まり、仏陀の偉大さについて共に考える素晴らしい機会となっています。世界中から参加する多くの仏教徒にお会いすることができ、またいつも私たちを暖かく歓迎してくださるタイの人々にお会いすることができるので、大変うれしく思っています。タイ王室政府とタイサンガが常に大きな支援をしてくださっていることを、ありがたく思っております。タイ国は、このような国際的仏教会議を開催するのにもっとも適した国です。

今私たち日本の仏教徒は、この会議を共催するという形で、感謝の気持ちを表し、皆さま方に貢献したいと思っております。私たちに共催国になるという名誉を与えてくださったことに対し、皆さま方に感謝したいと思います。

この会議が今回も大きな成功を収め、また将来はさらに発展していくことを希望しております。